

医療機関

25% 一時金回復せんを

「コロナ前水準

医労連「減収補てんを」

めにも、「コロナ対応の医療機関を救して十分べきだ」と求めています。病院だけでなくすべて分な減収補てんを行います。

今夏の一時金について、約4分の1の医療機関がコロナ前の水準に回復していないこと

19年、20年、21年の3年間で夏期一時金をみると、比較可能な28の組合のうち、今夏の回答がコロナ前の19年より下がっているのが、日本医療労働組合連合会（日本医労連）の一時金回答集計で明らかになりました。コロナ感染拡大による減収の影響が続いていることを示しています。

19年、20年、21年の3年間で夏期一時金をみると、比較可能な28の組合のうち、今夏の回答がコロナ前の19年より下がっているのが、日本医療労働組合連合会（日本医労連）の一時金回答集計で明らかになりました。コロナ感染拡大による減収の影響が続いていることを示しています。

このうち20年、21年との年連続の引き下げが14組合、21年はプラス回答になつたもの

のの19年水準に戻つてないのが24組合でした。20年度全体の一時金でみると、45・4%の組合でマイナスとなりました。このうち2%がコロナ患者を受け入れていない病院です。

日本医労連は、「医療崩壊」を食い止め、国民の命を守るためにも、「コロナ対応の医療機関を救して十分べきだ」と求めています。